

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>【危機管理防災部】</p> <p>新</p> <p>1 消防広域化推進費</p>		<p>13,000</p> <p>(一財 13,000)</p>	<p>13,000</p> <p>(一財 13,000)</p>	<p>消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用にかかる整備計画の策定 1,300万円</p> <p>主 体 埼玉県消防救急無線の広域化・共同化推進協議会 負担割合 県 1/3、さいたま市 1/6、 その他の消防本部の計 1/2</p> <p>総事業費 3,900万円 電波伝搬調査 3,627万円 会議等事務費 273万円</p> <p>・電波伝搬調査を実施し、その調査結果を踏まえ、消防救急無線の共同運用にかかる整備計画を18年度中に策定する。 ・消防救急無線について、平成28年5月までにデジタル化しなければならない。 (全国消防長会では23年5月までの移行を決議)</p>
<p>【審査の考え方】</p> <p>平成28年5月までに消防救急無線をデジタル化するため、消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用に係る整備計画の策定の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

危機管理防災部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新 部</p> <p>2 埼玉県特別機動援助隊 (仮称)創設事業費</p>		<p>53,439 (一財 53,439)</p>	<p>53,439 (一財 53,439)</p>	<p>彩の国レスキュー隊を改組し、埼玉県特別機動援助隊(仮称)を創設する。</p> <p>[埼玉県特別機動援助隊(仮称)] 地震等の自然災害や、列車事故等の特殊災害に対し迅速に出動し、早期に効果的な救助活動を行う</p> <p>〔高度に訓練された救助隊(5消防本部) 埼玉DMAT(3災害拠点病院) ヘリコプター隊(防災航空隊)〕</p> <p>1 高度救助隊の創設、資機材の整備 4,665万円</p> <p>川口市、所沢市、久喜地区の3消防本部に高度人命探査資機材を整備する(県が購入し、貸与)。 さいたま市：単独事業で整備予定(17年度中) 川越地区：国庫補助で整備予定(時期未定)</p> <p>2 救出・救助訓練の実施 660万2千円</p> <p>各部隊の能力向上、連携強化を図るため、実際の災害を想定した訓練を実施する(年1回)。</p> <p>3 運用調整会議の開催 18万7千円</p> <p>効果的な運用や訓練に関する協議(年2回)</p>

【審査の考え方】
大規模災害の教訓から、高度な救助活動を行うため、埼玉県特別機動援助隊(仮称)の創設や高度人命探査資機材の整備の必要性を認め、要求額を措置した。

危機管理防災部